

第6回 伝え隊、学び隊、語り隊 ～共に未来を創る

仲間として～2022-春休み編-

3月26日(土) 午前の部:10:00～12:00
午後の部:14:00～16:00



今、世界に目を向けると心痛むニュースにあふれています。
だからこそ、”より良い未来作りに向けて”、今、皆さんの
”思っていること” ”大切にしていきたいこと” など、伝
え合い、学び合い、語り合いましょう！！
そして、～共に未来を創る仲間として～ Happierな新年度
につなげるためのきっかけづくりをしませんか？

前半：

後半：分科会

- | | |
|----------------------|------------------------|
| ① “共生” と “共存” の違いって？ | ②SDGsを身近なアクションに繋げるには？ |
| ③生きる／幸せってなんだろう？ | ④平和をつくるためには？ |
| ⑤ケアってなんだろう？ | ⑥ “未来を創る” ためにどんな学びが必要？ |
- /居場所ってなんだろう？

*午前・午後の部、それぞれに前半と後半の時間があります。

申込方法

右のQRコードを読み取ると、申込フォームが表示されます。
必要事項を記入し、登録をおこなってください。→→→→→
QRコード先で記入してください。

お問い合わせ先

JICA埼玉デスク 矢田部 建佑

jicadpd-desk-saitamaken@jica.go.jp

090-4024-0253 Facebook 『JICA埼玉』と検索！！



共催：

『世界に目を向けよう
～今、私たちにできること～』

代表 金子 玲子

JICA東京 埼玉デスク

国際協力推進員

矢田部 建佑



午前の部:10:00~12:00



原賀 祥乃

埼玉大学教育学部附属中学校
埼玉県出身

学生時代、陸上競技の魅力に惚れ込んだ私が今となっては中学校教員。自分の立場からできることは何か、一緒に考えませんか？

『スポーツを通じて誰かの人生は変わるのか』

瀬水 大二郎
芝浦工業大学
山梨県出身

大学2年時のイギリス語学留学を機に、多国籍や多文化の環境に興味を抱いた。卒業研究として多文化共生について取り扱い、多文化共生の認識や理解を高める活動(ワークショップ)を行った。

今後は今秋の海外への留学を決め、本場の多文化共生を体感し、学びを深めたい。

『多文化共生に向けて』



金子 誠

日本赤十字看護大学さいたま看護学部2年
埼玉県出身

看護大学二年目になりました。今の時期コロナで大変ですが、幸運にも病院実習をすることができました。

今回は、実習で得たことを皆さんに共有できたらと思います。

『実習での経験を得て』



午後の部:14:00~16:00



小池 千栄子

川口市立芝西中学校陽春分校(夜間中学校)
岐阜県出身・東京都北区在住

子育てをしながら、夫、夫の祖父の介護を経験。夜間中学校に勤務したことをきっかけに、日本語教師養成課程420時間修了し、週1回外国人への日本語指導ボランティアをおこなっている。

『You raise me up』

武田 悠里

新・大学1年

神奈川県出身 (初等教育の大部分)

高校3年次の課題探究講座にて、聞き屋をやっていました。居場所づくりの視点から、聞き屋の体験とそこから考えたことを共有させていただきます。

『学校に現れた聞き屋』



あなたの話
なんでも
聞きます



高橋 依子

JICA東京 職員

宮城県出身

出身県宮城での中学校教諭、カナダでの日本語教師等の業務を経て、南米パラグアイにJICA海外協力隊の日本語教師として派遣。現在はJICA東京で「市民による国際協力」事業を担当。

『世界の中の私たちの役割』